

ナビゲーター

会とモザイクのように複雑に絡む経済的・社会的課題と格闘しています。ネパールは、国際的ベンチャー企業との協働により、経済的・社会的に大きな変貌に直面しつつあります。

この発展に貢献する経営コンサルタントの一人として、

70

日本への期待 世界各地から

急成長する経済の強化のために、知識、技術、成功事例の移転を促進することが、私の役割です。このコラムでは、ネパール経済と社会の現状を掘り下げ、潜在的な投資家や国際的な利害関係者に洞察を提供したいと考えます。経済構造としては、伝統的な農業基盤から、より多様な構造へと変貌しつつあります。農業は依然として国のGDPの大部分を占め、労働力の大半を雇用していますが(注記、就業人口の約7割、GDPは約3割を農業関連が

社会的背景と経済の現状と挑戦

占める)、サービスや観光などの産業分野が増加傾向にあります。2015年の地震とコロナ禍による一時的な停滞にもかかわらず、GDPは2023年に回復し始めましたが、依然として経済は脆弱(ぜいじやく)です。残念なことです

が、海外からの送金はGDPの約4分の1を占めていて、世界的な変動に対するネパール経済の過剰な反応が浮き彫りになっています。カタール、サウジアラビア、ヨーロッパ、諸国、日本などへ労働力が広

ネパールから(上)

く移動していることは、経済的利益をもたらずと同時に、頭脳流出にも大きくつながります。2015年の地震とコロナ禍による一時的な停滞にもかかわらず、GDPは2023年に回復し始めましたが、依然として経済は脆弱(ぜいじやく)です。残念なことです。海外からの送金はGDPの約4分の1を占めていて、世界的な変動に対するネパール経済の過剰な反応が浮き彫りになっています。カタール、サウジアラビア、ヨーロッパ、諸国、日本などへ労働力が広

に女性の参画が進むなど改善が進むものの、教育、医療、女性や社会的に底辺に近いコミュニティに対する経済的機会には、大きな格差が残っています。

教育や医療システムも改善されているとはいえ、依然不適切で、とくに農村部ではまだ不十分です。識字率は約67%で、都市と農村での格差が大きくなっています。健康指標は進歩しているものの、公衆衛生インフラは人口増加に対応するのに苦労しています。

【ローシャン・クマール、リーム中産連】

(月曜日に掲載)